

## 「共同採用試験」に関するアンケート結果

	取り組みたい	取り組みたくない・必要性がない	その他
全市町村	21 (27%)	51 (66%)	5 (6%)
WG 首長	5 (38%)	4 (31%)	4 (31%)
理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受験者確保の点から有効</li> <li>・ 採用事務の効率化が図れる</li> <li>・ 複数自治体に合格した場合に一方を辞退するということがなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験が同一日になることで受験者の選択の幅が狭まる</li> <li>・ <u>給与条件等が有利な市町村へ集中してしまう恐れがある</u></li> <li>・ 保健師のみの共同化は採用事務の煩雑につながる</li> <li>・ 個別の採用募集であっても十分に応募があり、必要な職員数が確保できている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験方法等の詳細な制度設計が必要</li> <li>・ 試験の点数だけでなく、試験中の様子も参考としたい</li> <li>・ 全職種を共同試験で実施するならば参加したい</li> <li>・ 共同化に伴う予算措置等、条件によって検討する</li> </ul>

## 「共同採用試験」に「取り組みたい」と回答した市町村

佐久圏域：佐久穂町、川上村

上小圏域：東御市、青木村

上伊那圏域：駒ヶ根市、辰野町

飯伊圏域：松川町、下條村、売木村、泰阜村、  
喬木村

木曾圏域：上松町、南木曾町、木祖村、王滝村

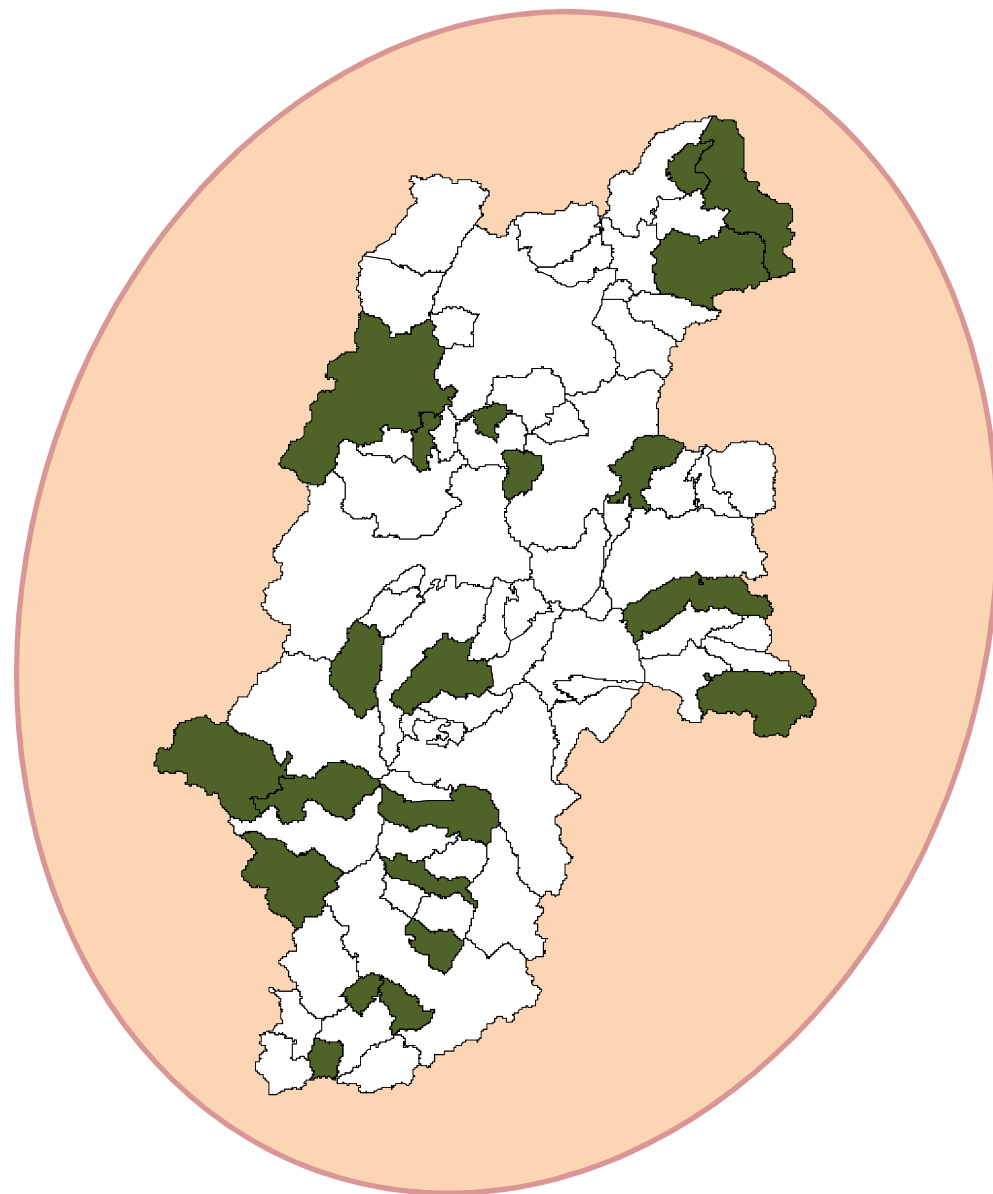
松本圏域：麻績村

大北圏域：大町市、池田町

長野圏域：なし

北信圏域：山ノ内町、野沢温泉村、栄村

以上、21市町村



## 「採用人事の一元化」に関するアンケート結果

	取り組みたい	取り組みたくない・必要性がない	その他
全市町村	4 (5%)	70 (91%)	3 (4%)
WG 首長	2 (15%)	9 (69%)	2 (15%)
理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村が人材確保に苦慮しており、必要な場合に必要な職種、必要な人数を県が確保することが最終目的</li> <li>・市町村の先進的取組の横展開が可能となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>県と市町村では、役割・業務内容が異なり、業務遂行や人材育成に支障が生ずる</u>（市町村は直接住民、県は市町村支援を含む間接）</li> <li>・<u>保健師業務は長期、地域密着が必要であり、短期異動は質の高い保健サービスが提供不可能</u></li> <li>・<u>受験者は地元志向が強い</u></li> <li>・職員の身分や給与、勤務地、業務内容が不明確であり、職員が不安に感じ、中途退職者増が懸念</li> <li>・自治体の事情を考慮した職員が配置されない恐れ</li> <li>・給与水準を均一化する必要があり、小規模町村では対応困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>受験者は一元化を望んでいないと思う</u></li> <li>・一元化は、広域連合や定住自立圏で取り組む方法もある</li> <li>・<u>人事交流は必要だが任命権の一元化は検討が必要</u></li> </ul>

## 「採用人事の一元化」に「取り組みたい」と回答した市町村

佐久圏域：川上村

上小圏域：なし

上伊那圏域：なし

飯伊圏域：阿南町、平谷村

木曾圏域：王滝村

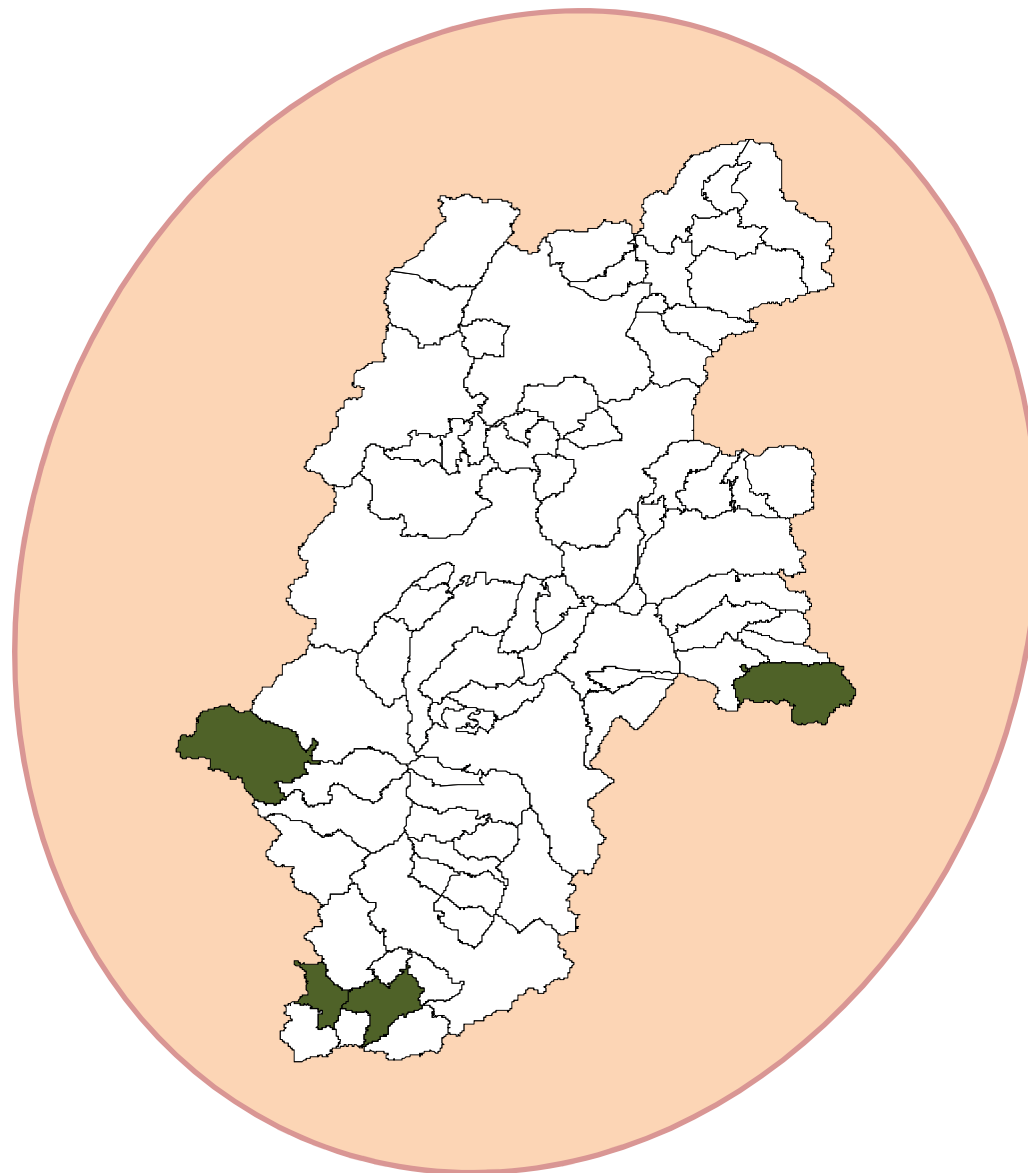
松本圏域：なし

大北圏域：なし

長野圏域：なし

北信圏域：なし

以上、4 町村



# 「市町村における保健師確保の実態調査（Ⅱ）」結果について（確定版）

健康福祉部 健康福祉政策課

## 1 調査内容

### 問1 保健師の現況について

- （1）保健師の充足状況及び採用予定について
- （2）平成 28 年 4 月採用実績について

### 問2 採用情報の発信・採用試験及び人事等の共同化について

- （1）情報発信の共同化について
- （2）採用試験の共同化について
- （3）採用と人事の一元化について
- （4）人材バンクについて

### 問3 保健師等確保のために、自治体等が共同でできることについて

2 調査期間：平成 28 年 7 月 25 日～9 月 5 日

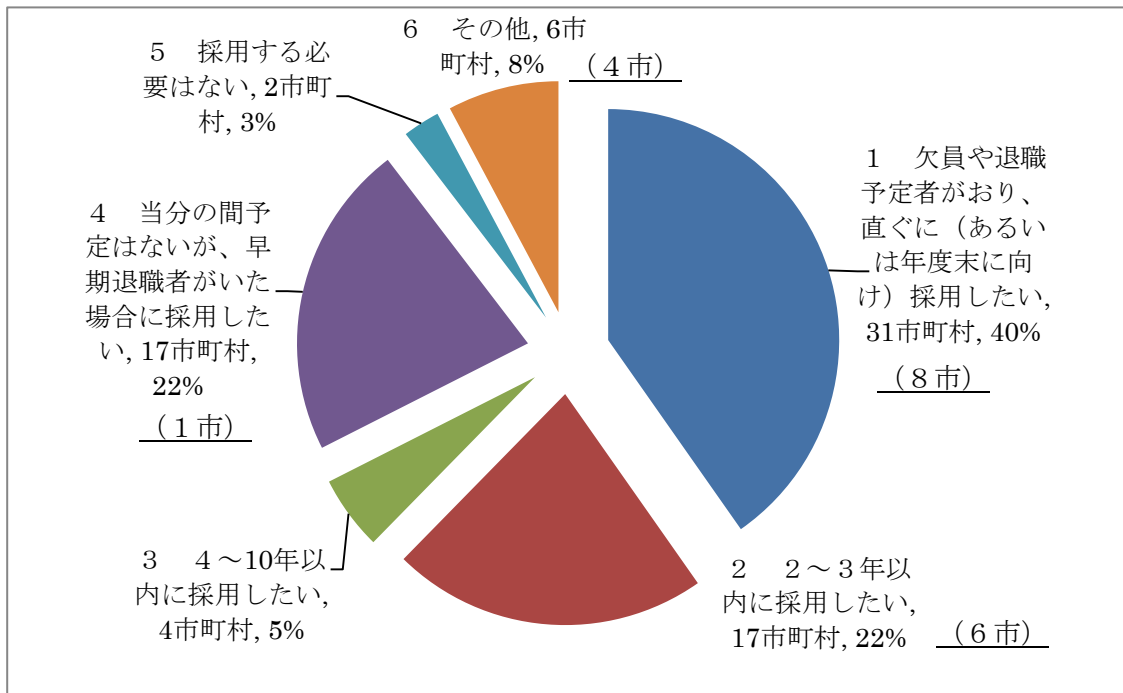
3 回答市町村数：77 市町村



<問1 保健師の現況について>

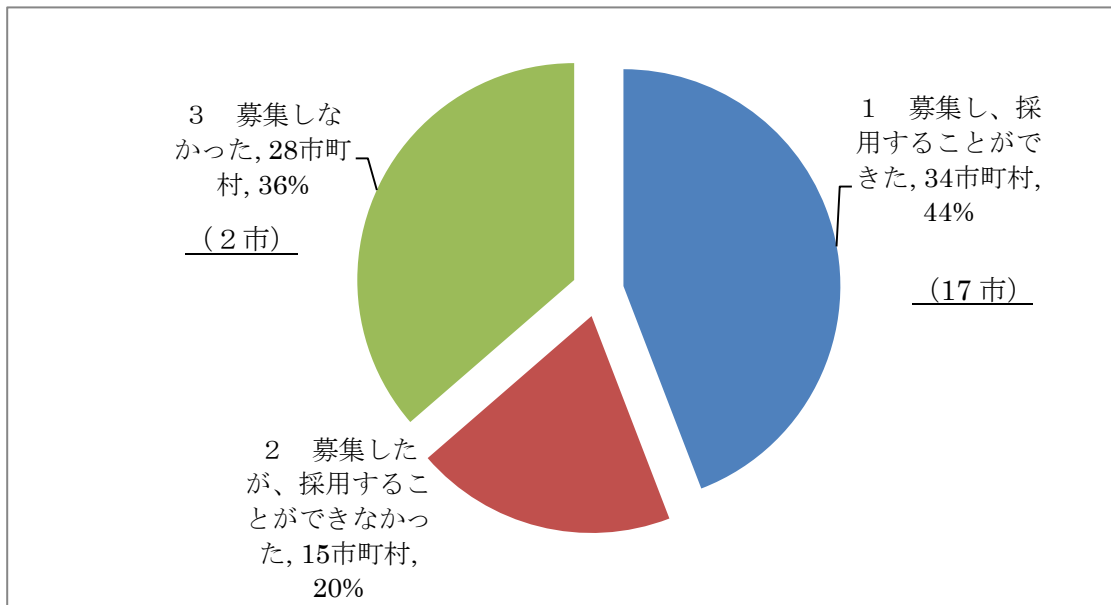
「(1) 保健師の充足状況及び採用予定について」

n=77 市町村



「(2) 平成28年4月採用の保健師実績について」

n=77 市町村

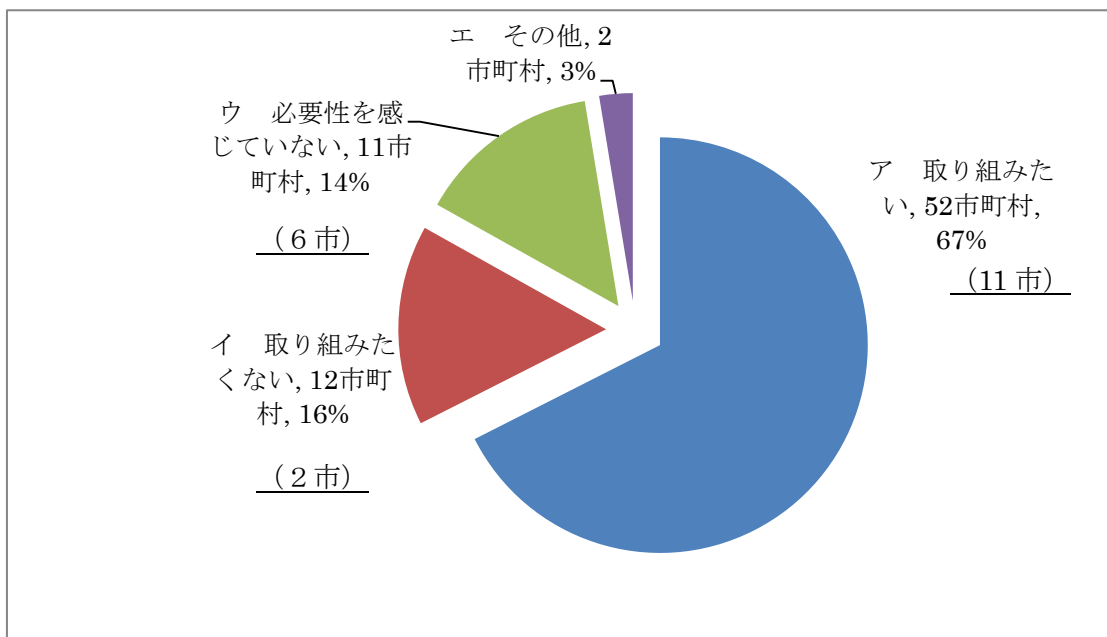


<問2 採用情報の発信・採用試験及び人事等の共同化について>

(1) 情報発信の共同化について

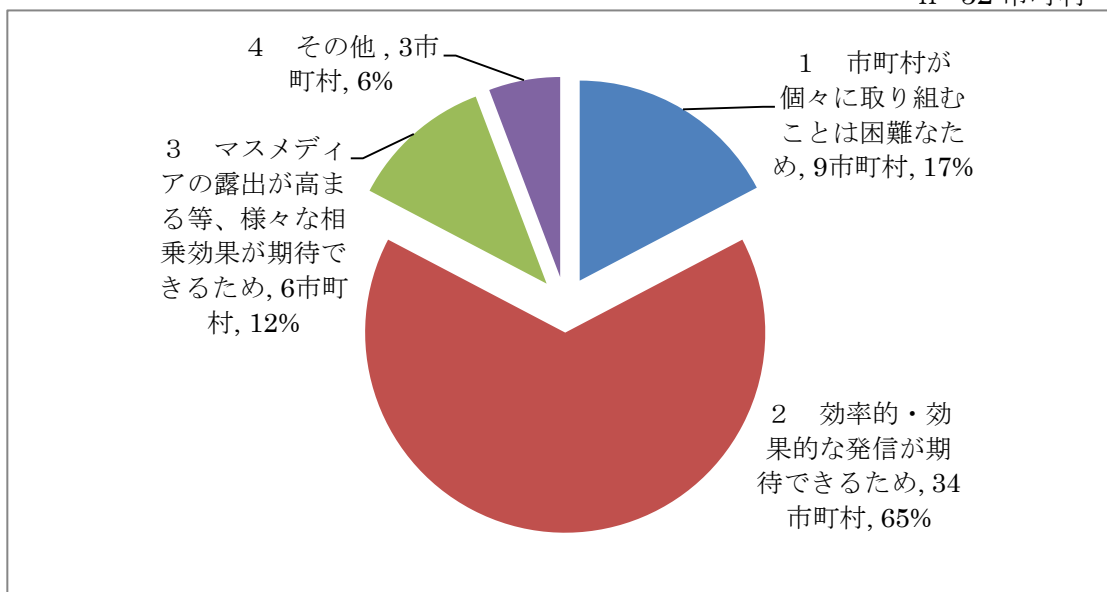
「①保健師の採用情報を共同で発信したいか」

n=77 市町村



「①保健師採用情報の共同発信で「ア 取り組みたい」と回答した理由」

n=52 市町村

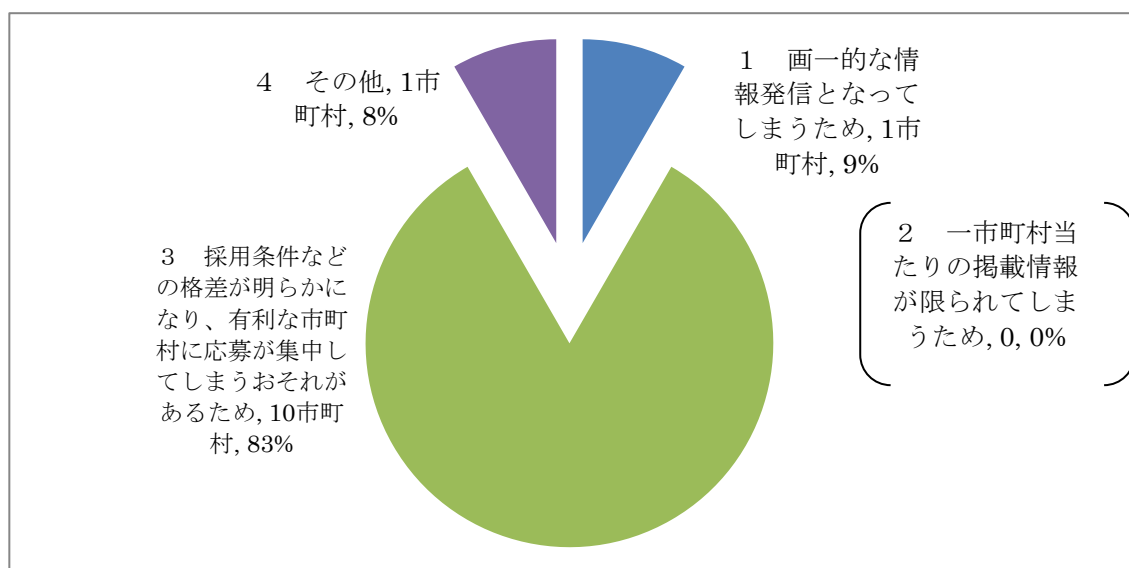


4 その他の内容

- ・就職希望者が求人情報を把握しやすい。
- ・県の公式専用サイトにある「長野で保健師」で十分だと思う
- ・受験生の利便性が高まる

「①保健師採用情報の共同発信で「イ 取り組みたくない」と回答した理由」

n=12 市町村



「①保健師採用情報の共同発信で「ウ 必要性を感じていない」と回答した理由」

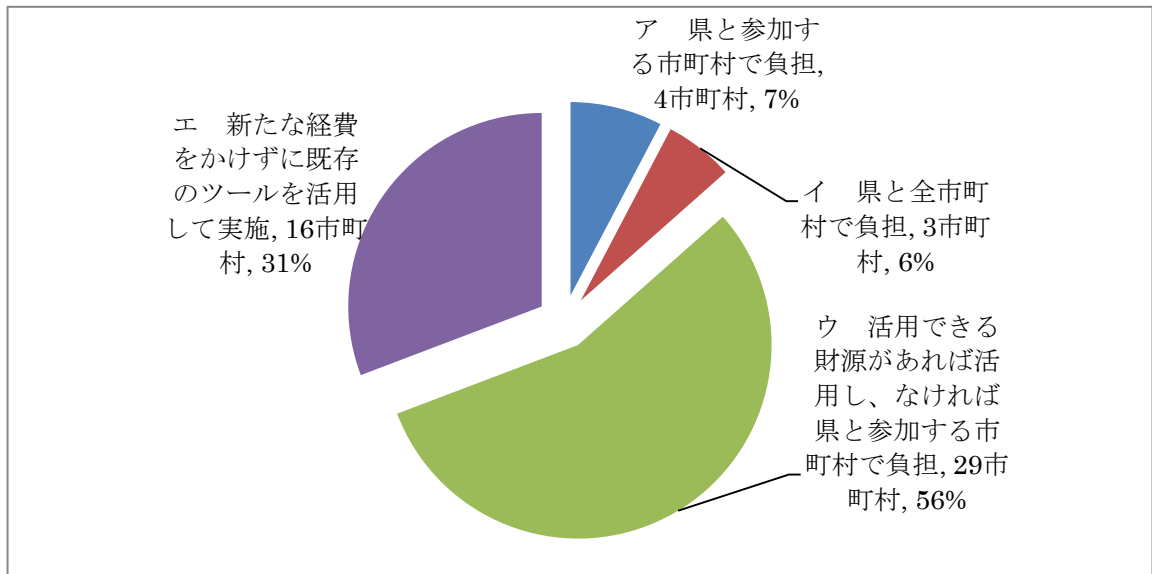
- ・ガイダンス参加者は地元出身の市町村に希望が集中してガイダンスに望んでいた。他市町村への関心は薄かった。
- ・現時点では、補充できているため必要性を感じていないが、今後の課題としたい。
- ・しばらく採用予定がないため、今後の状況により検討していきたい。
- ・例年、募集に対し一定の応募があるため。
- ・募集をかければ応募がある。

「①保健師採用情報の共同発信で「エ その他」と回答した内容」

- ・町単独では数少ない職員採用を行う現状で、限られた掲載情報では就職希望者の発掘が難しいため情報の共同発信についてはマスメディアの露出が高まり賛成です。反面、募集市町村の立地条件・採用条件等の格差が明らかになり有利な市町村に募集が集中するおそれがあります。また、町の一般職員としての採用計画（組織体制等）もあることから、採用試験及び人事等の共同化には無理があると思われます。
- ・共同化に伴う予算措置が必要になるか等、条件によって検討する。

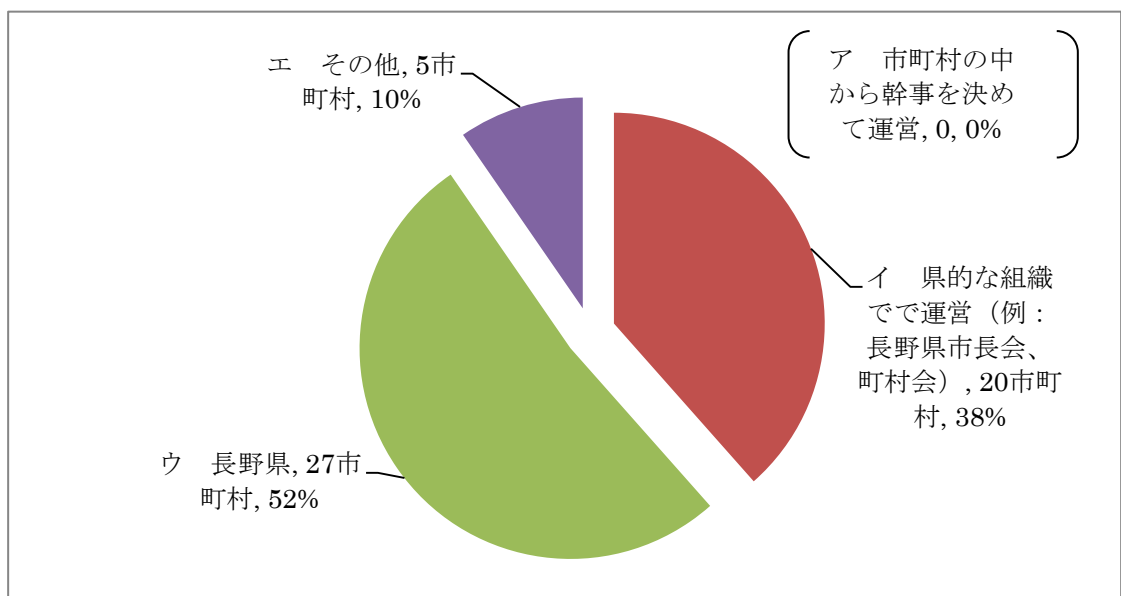


※①保健師採用情報の共同発信で「ア 取り組みたい」と回答した市町村のみが回答  
 「②共同で情報発信する場合の財源は？」 n=52 市町村



- 「エ 新たな経費をかけずに既存のツールを活用して実施」の内容
- ・「長野で保健師。」の専用サイトが、とてもわかりやすくて良い。
  - ・「長野で保健師。」の経費負担がわかりませんが、そのまま利用できるのであれば利用。
  - ・長野で保健師。「保健師」募集のご案内。
  - ・県等を通じて県内の市町村での募集情報を幅広く発信。
  - ・J-L I Sのページで専門職検索ができるようにする。

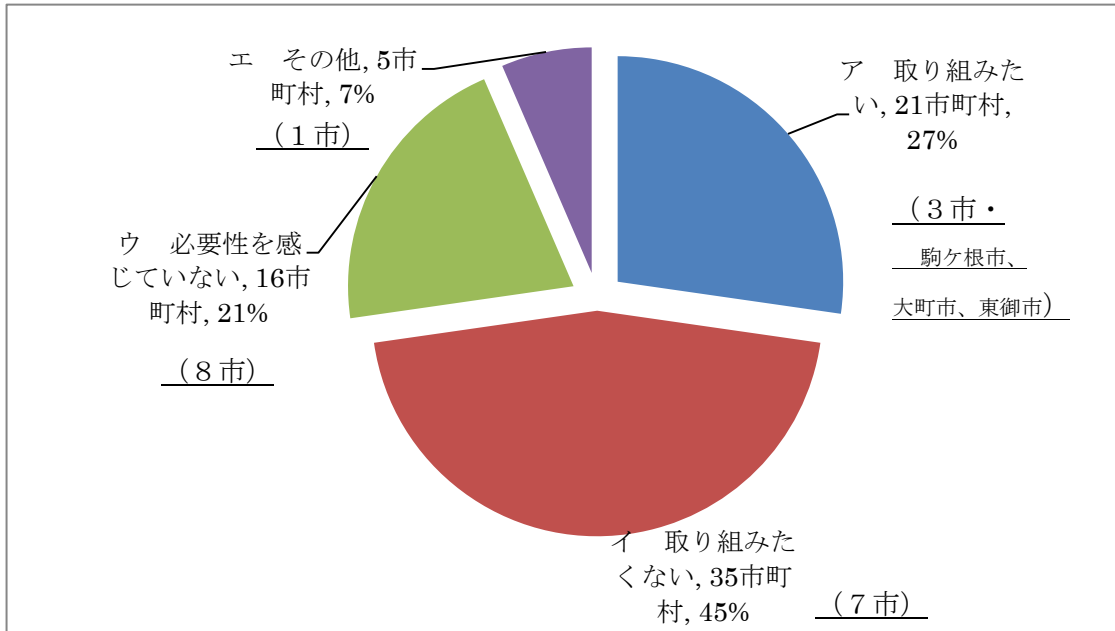
※①保健師採用情報の共同発信で「ア 取り組みたい」と回答した市町村のみが回答  
 「③共同で情報発信する場合の体制は？」 n=52 市町村



(2) 採用試験の共同化について

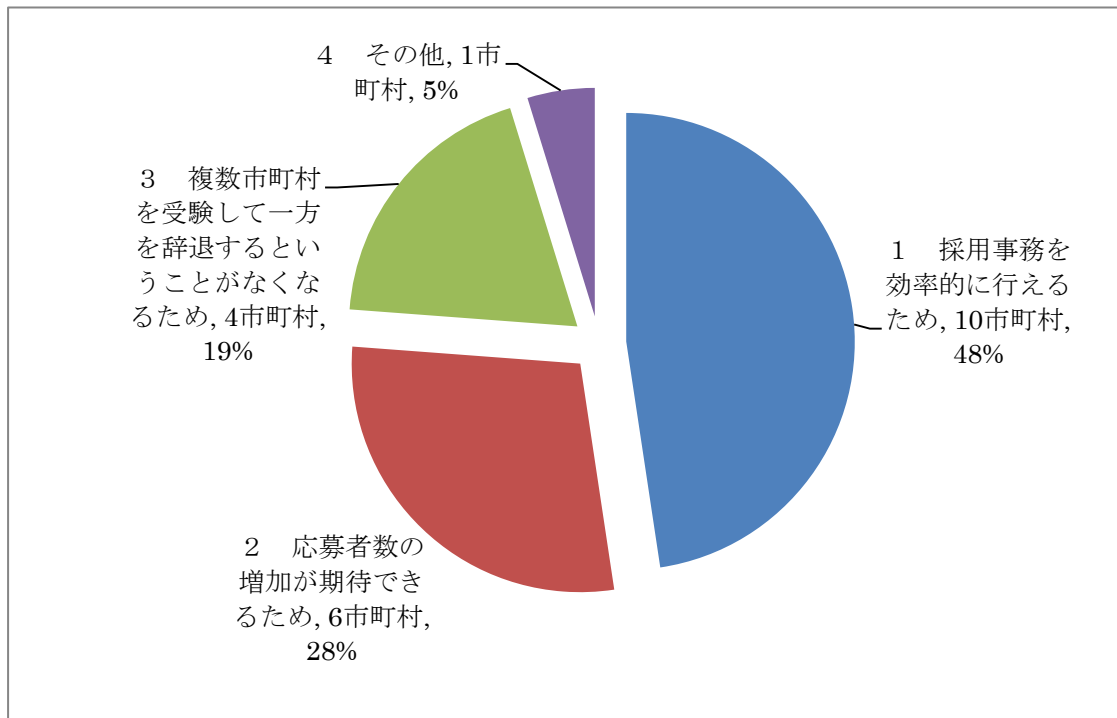
「①1次筆記試験を共同化で行い、2次試験（面接試験等）を市町村毎に行うことについて、どう考えるか？」

n=77 市町村



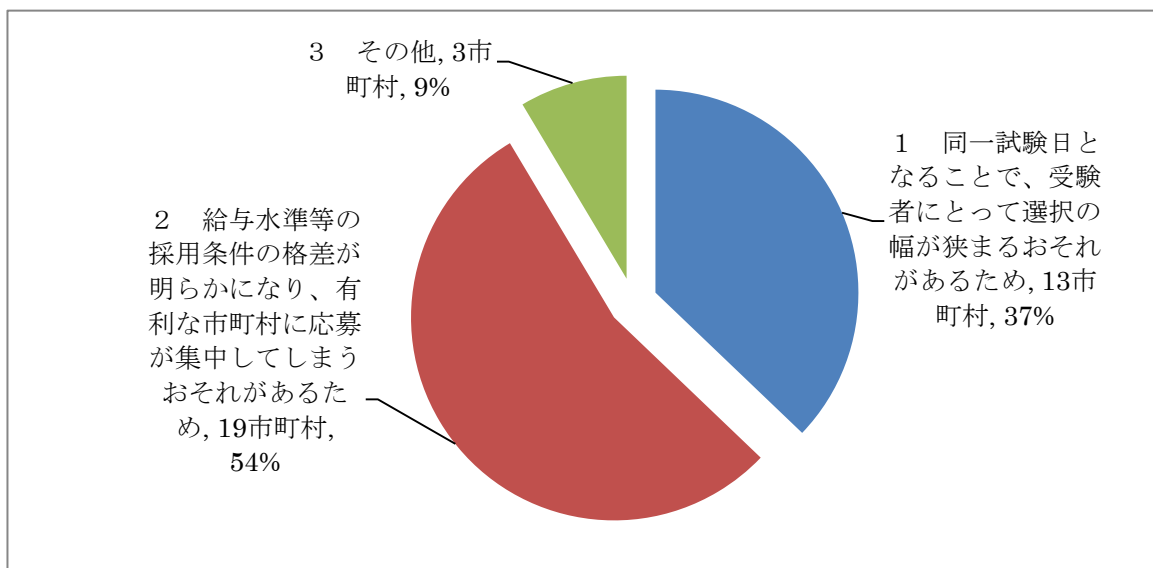
「①1次試験を共同化し、2次試験を市町村毎に行うことに「ア 取り組みたい」と回答した理由」

n=21 市町村



「①1次試験を共同化し、2次試験を市町村毎に行うことに「イ 取り組みたくない」と回答した理由」

n=35 市町村



### 3 その他の理由

- ・他職種との兼ね合い。(試験日など)
- ・1次試験の点数だけでなく、試験中の様子も参考としたい。
- ・独自に試験を実施しても、十分な受験者を確保できるため。

「①1次試験を共同化し、2次試験を市町村毎に行うことに「ウ 必要性を感じていない」と回答した理由」

- ・現時点では、補充できているため必要性を感じていないが、今後の課題としたい。
- ・保健師採用試験のみの共同化は、採用試験事務の煩雑化につながるおそれがある。
- ・必要な職員が例年確保できているため
- ・しばらく採用予定がなく、また、本市としてメリットがあまり見出せないため現時点で必要性を感じていません。
- ・現状で特に問題はない。

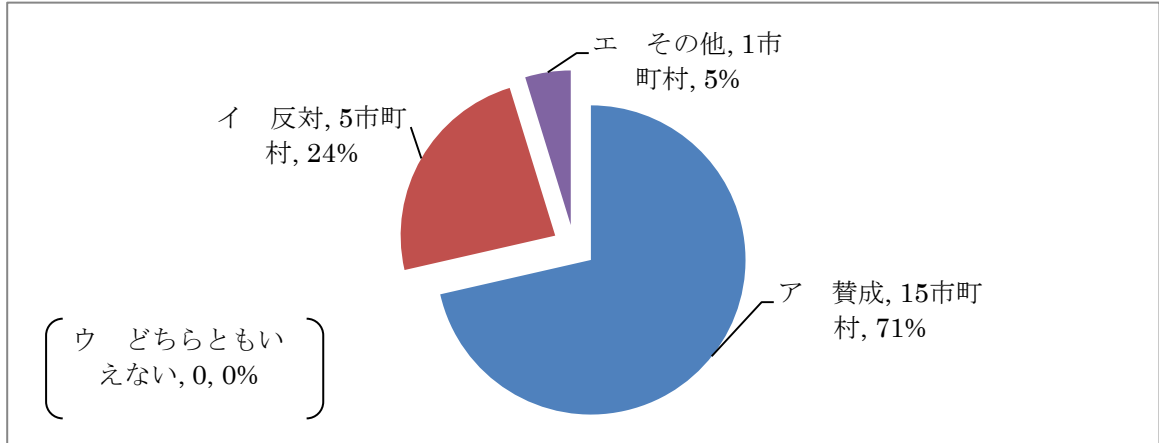
「①1次試験を共同化し、2次試験を市町村毎に行うことに「エ その他」と回答した内容」

- ・町村会の試験で対応できている。なお、応募者が無い場合は、資格者であれば選考採用で可と考えている。
- ・大勢の就職希望者の中から職員を選べるという部分からは採用試験の共同化は良いと思いますが、有利な市町村に募集が集中するおそれがあります。
- ・保健師に限らず、全職種で共同統一の1次試験を行っていただければぜひ参加したい。
- ・共同化に伴う予算措置等、条件によって検討する。

※①1次試験を共同化し、2次試験を市町村毎に行うことに「ア 取り組みたい」と回答した市町村のみが回答

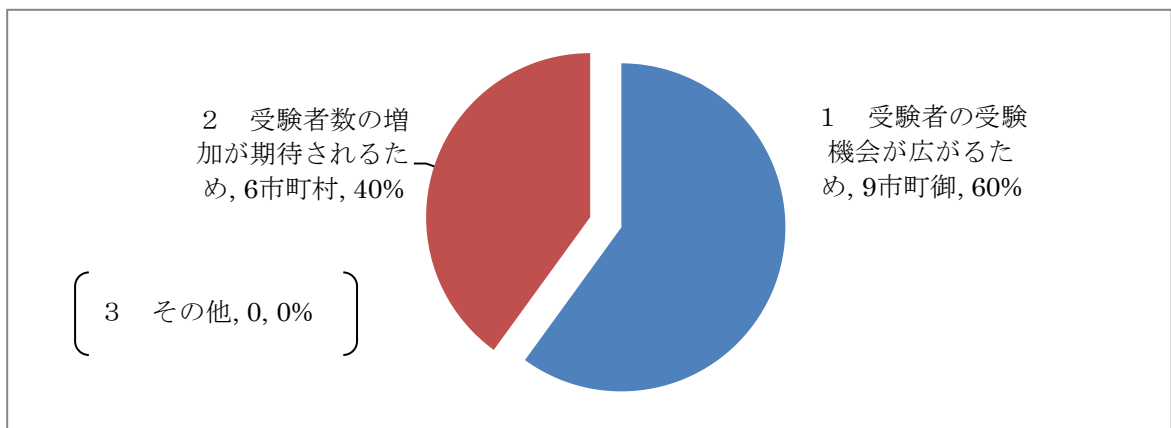
「②1次筆記試験を共同で行う際に、受験者の第2志望市町村等を確認し、第1志望市町村の1次筆記試験が不合格であっても第2志望市町村の2次試験受験を可能とすることについて、どう考えるか？」

n=21 市町村



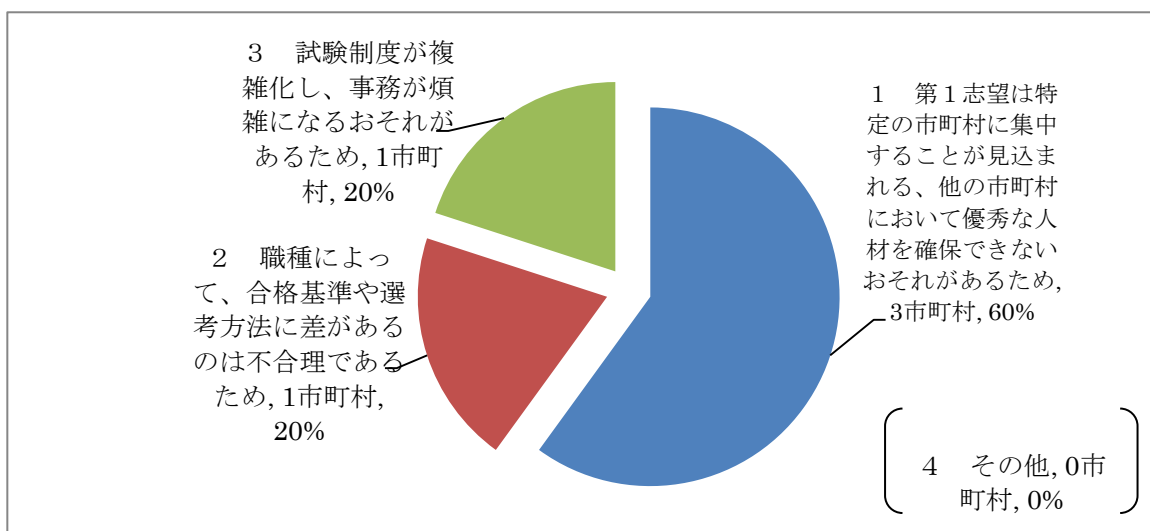
「②第2次志望市町村の2次試験を可能とすることに「ア 賛成」と回答した理由」

n=15 市町村



「②第2次志望市町村の2次試験を可能とすることに「イ 反対」と回答した理由」

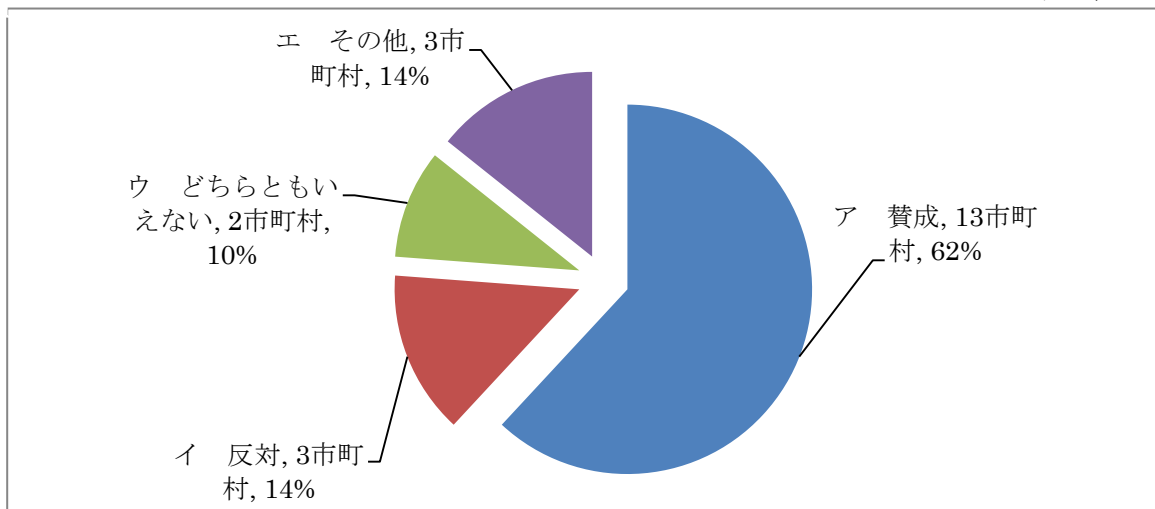
n=5 市町村



※②第2次志望市町村の2次試験を可能とすることに「ア 取り組みたい」と回答した市町村のみが回答

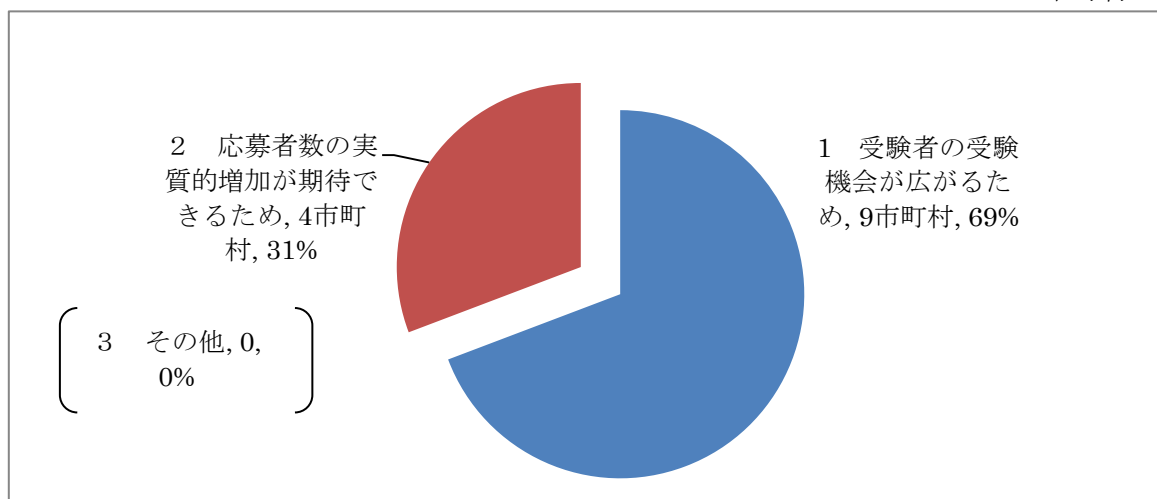
「③ 第2志望市町村で不合格になった場合でも、他市町村で選考採用の機会を与えることについて、どう考えるか？」

n=21 市町村



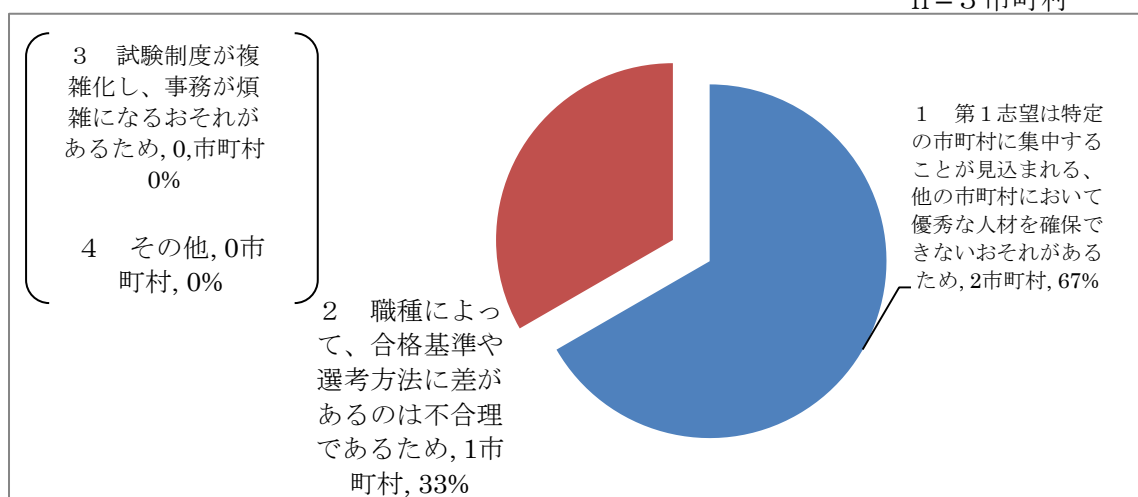
「③他市町村で選考機会を与えることに「ア 賛成」と回答した理由」

n=13 市町村



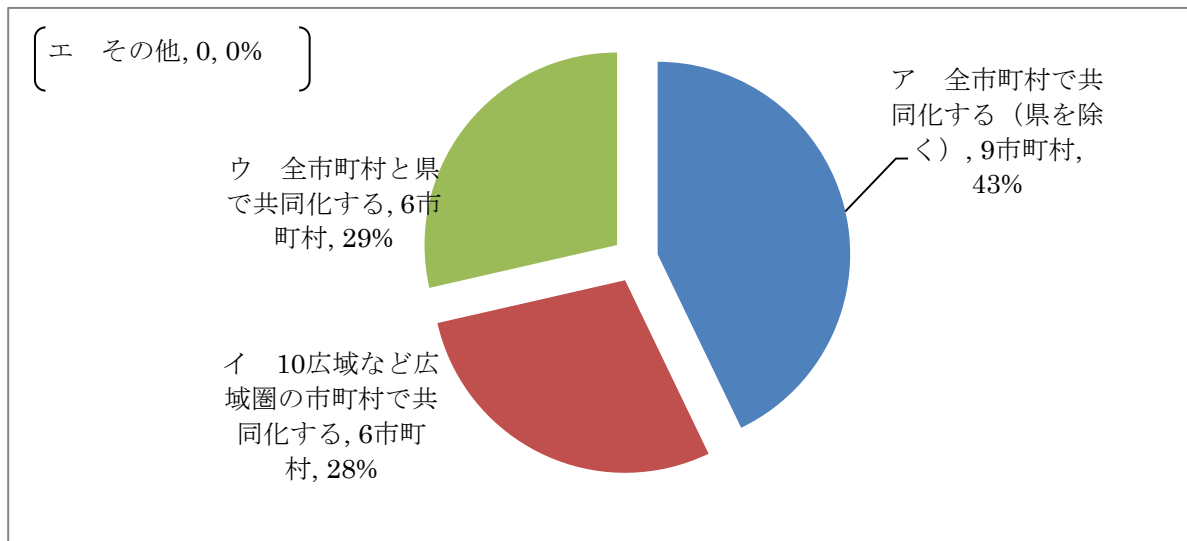
「③他市町村で選考機会を与えることに「イ 反対」と回答した理由」

n=3 市町村



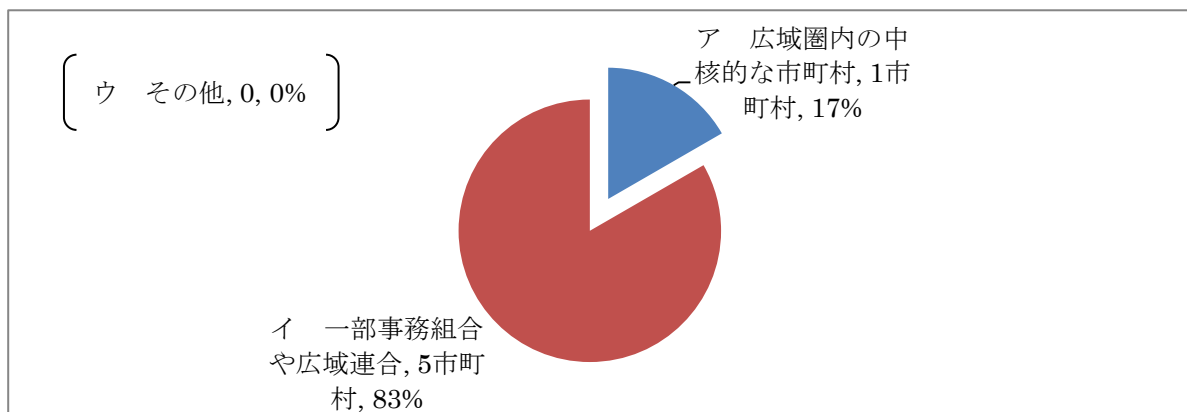
※②第2次志望市町村の2次試験を可能とすることに「ア 取り組みたい」と回答した市町村のみが回答

「④ 共同で試験を行う場合、共同化する自治体の範囲は？」 n=21 市町村



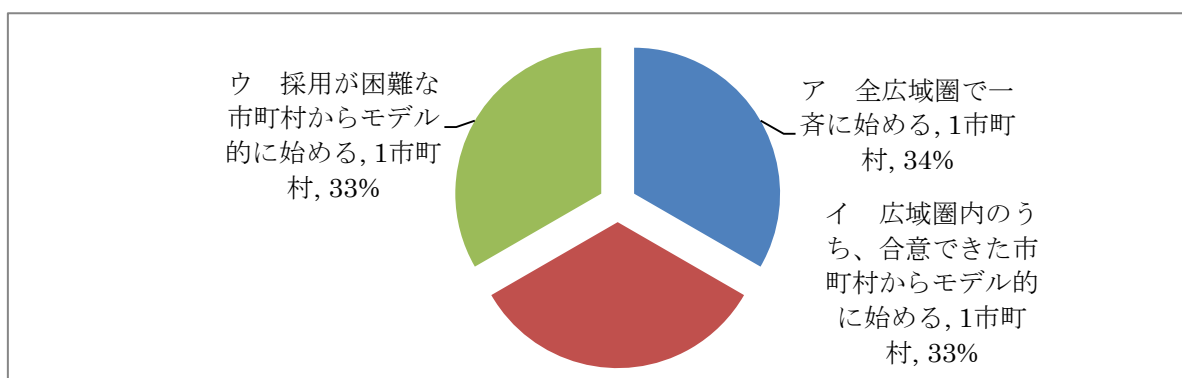
※④共同で試験を行う場合、「イ 10広域など広域圏の市町村で共同化する」と回答した市町村のみが回答

「⑤ 採用試験事務の実施主体は？」 n=6 市町村



※④共同で試験を行う場合、「イ 10広域など広域圏の市町村で共同化する」と回答した市町村のみが回答

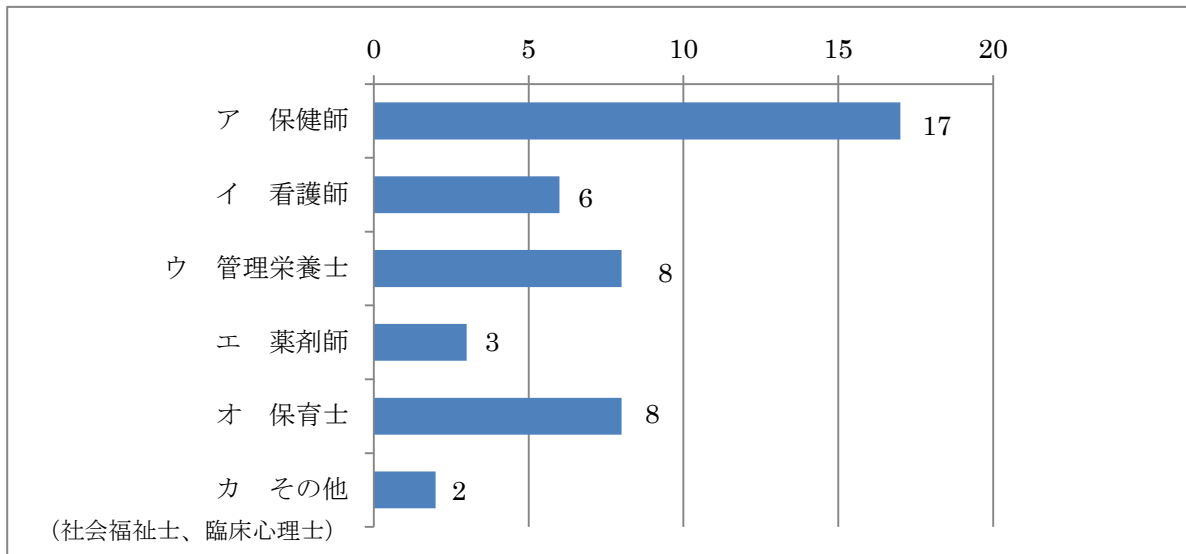
「⑥ 導入方法は？」 n=3 市町村



※②第2次志望市町村の2次試験を可能とすることに「ア 取り組みたい」と回答した市町村のみが回答

「⑦ 採用試験の共同化で取り組みたい職種は？」

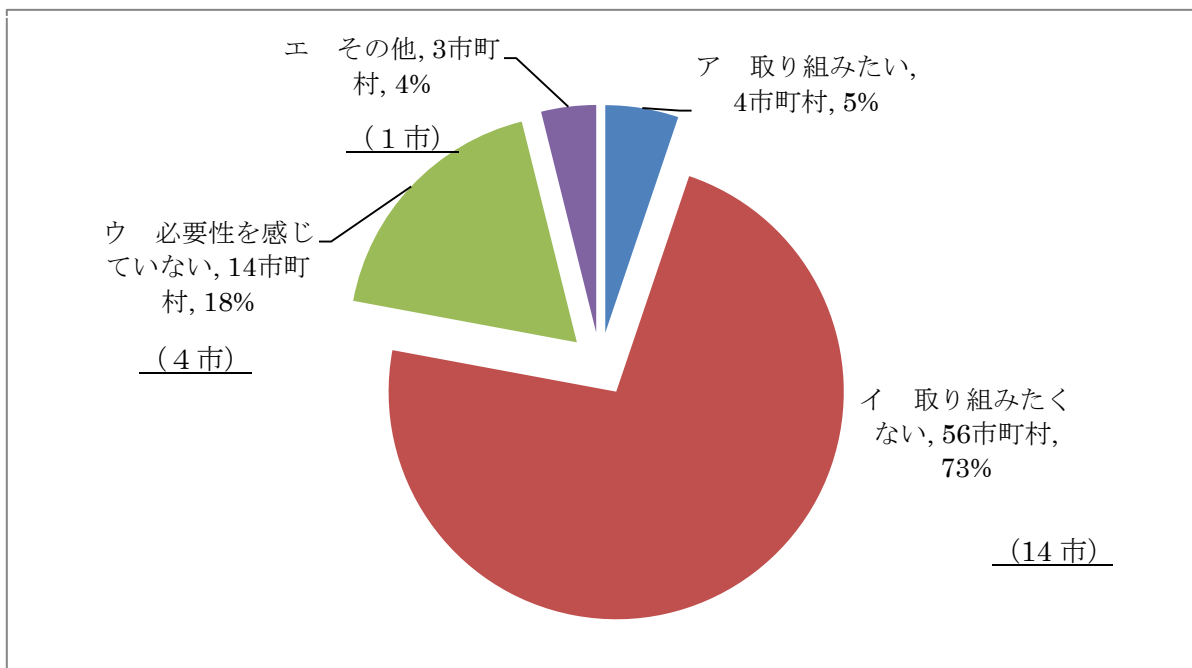
n=20 市町村 複数選択可



(3) 採用と人事の一元化について

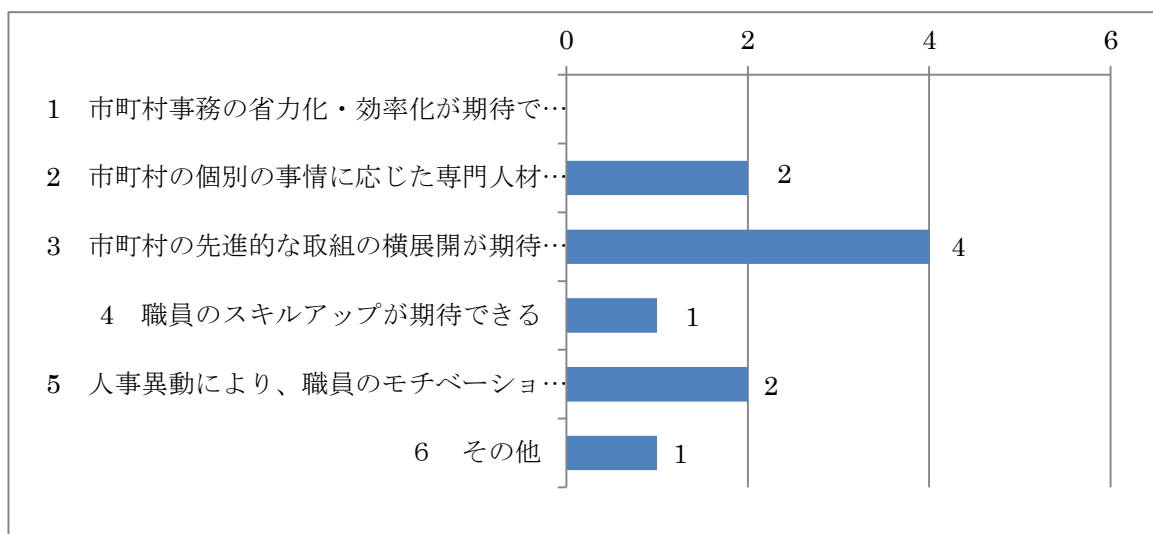
「①試験の共同化以外に、採用や人事異動を含む任命権を県を含めて一元化することについて、どう考えるか？」

n=77 市町村



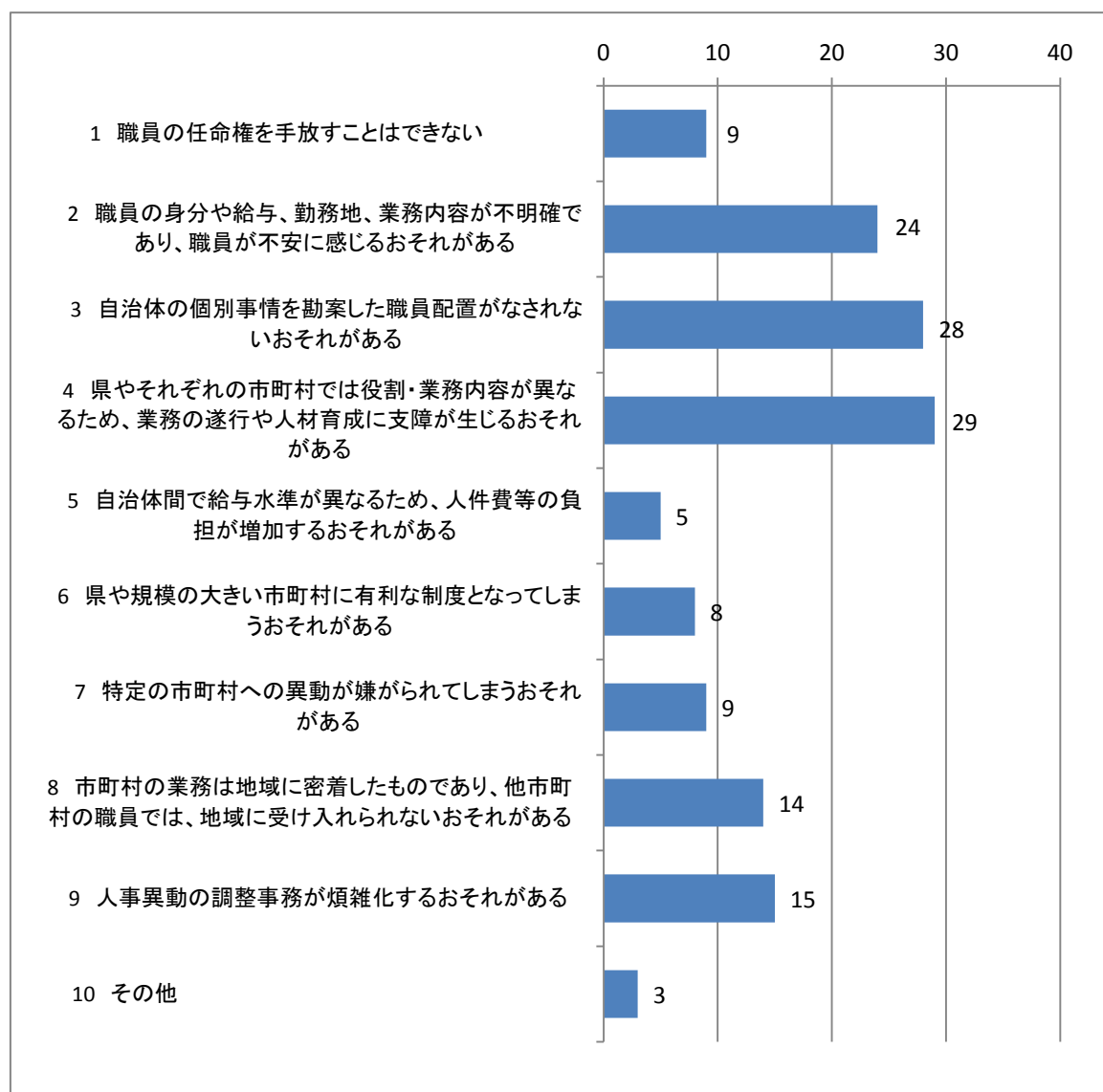
「① 人事の一元化に「ア 取り組みたい」と回答した理由」

n=4 市町村、複数回答可



「① 人事の一元化に「イ 取り組みたくない」と回答した理由」

n=56 市町村、複数回答可





「① 人事の一元化で「ウ 必要性を感じていない」と回答した理由」

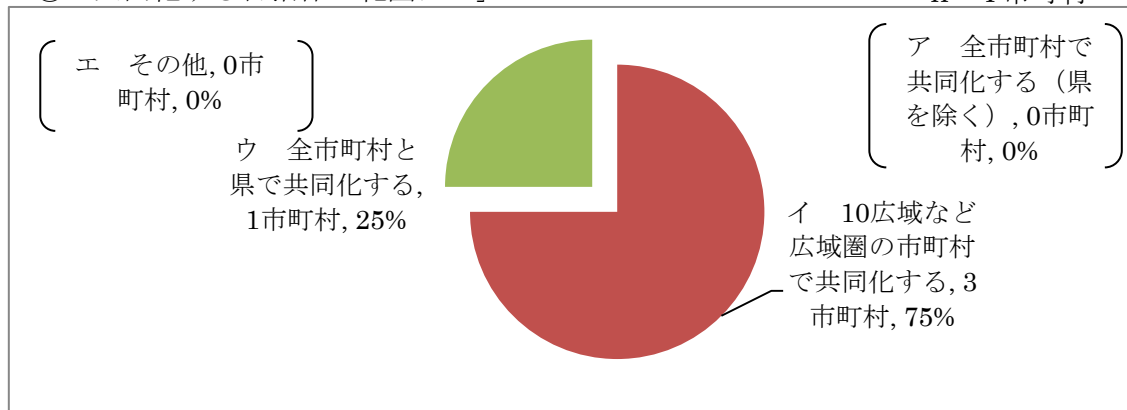
- ・身分等が不明確。自治体ごとに業務が異なる。職種の性質上、地域密着型である。
- ・村の特性があり、財政規模の問題もあるため。
- ・庁内よりも外部施設への配属が多いため、一元化等にそぐわない。

「① 人事の一元化で「エ その他」と回答した内容」

- ・他市町村との人事交流は必要だと考えるが、任命権を一元化することは検討が必要。
- ・基本的には市町村単位で募集をし、不足が生じる場合には県職員を一定期間派遣できる方法が良いと思う。
- ・一元化するとすれば、広域連合又は定住自立圏での取組みも、一つの考え方である。各市町村の現況を詳細に把握し、全体で情報共有をし、さらに議論を深めていくことが重要である。

※①人事の一元化に「ア 取り組みたい」と回答した市町村のみが回答

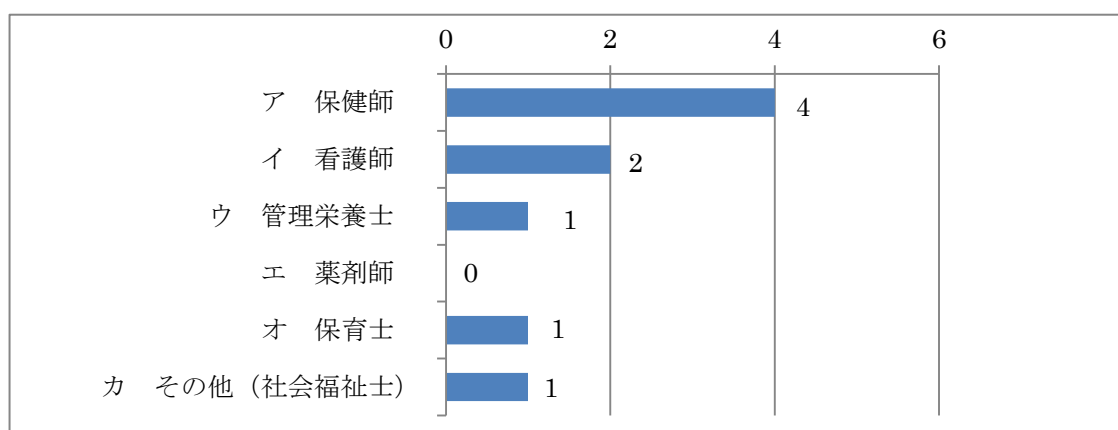
「② 共同化する自治体の範囲は？」



※①人事の一元化に「ア 取り組みたい」と回答した市町村のみが回答

「③ 対象職種は？」

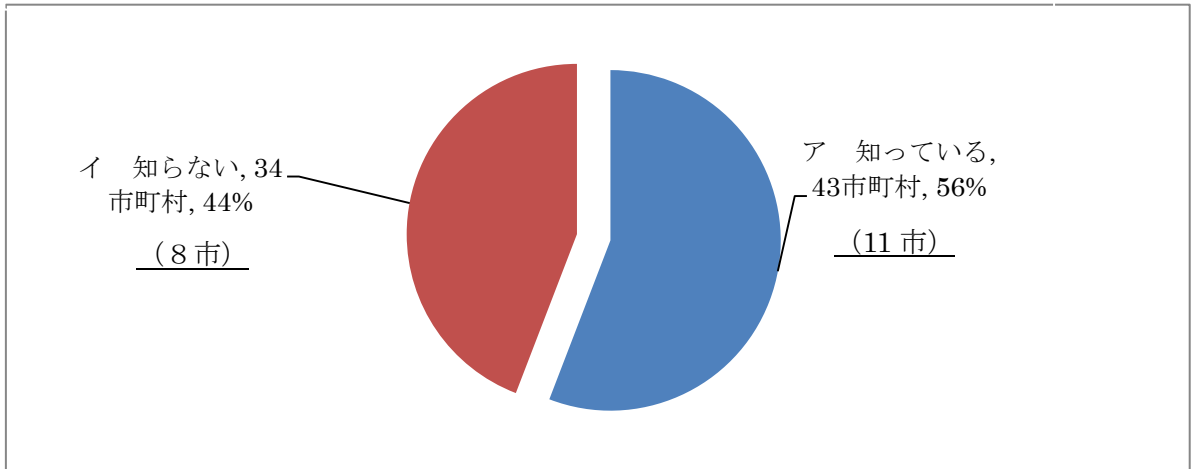
n = 4 市町村 ※複数回答可



(4) 人材バンクについて

「①『公益社団法人長野県看護協会（eナースセンター）』が運営する人材バンクを知っているか？」

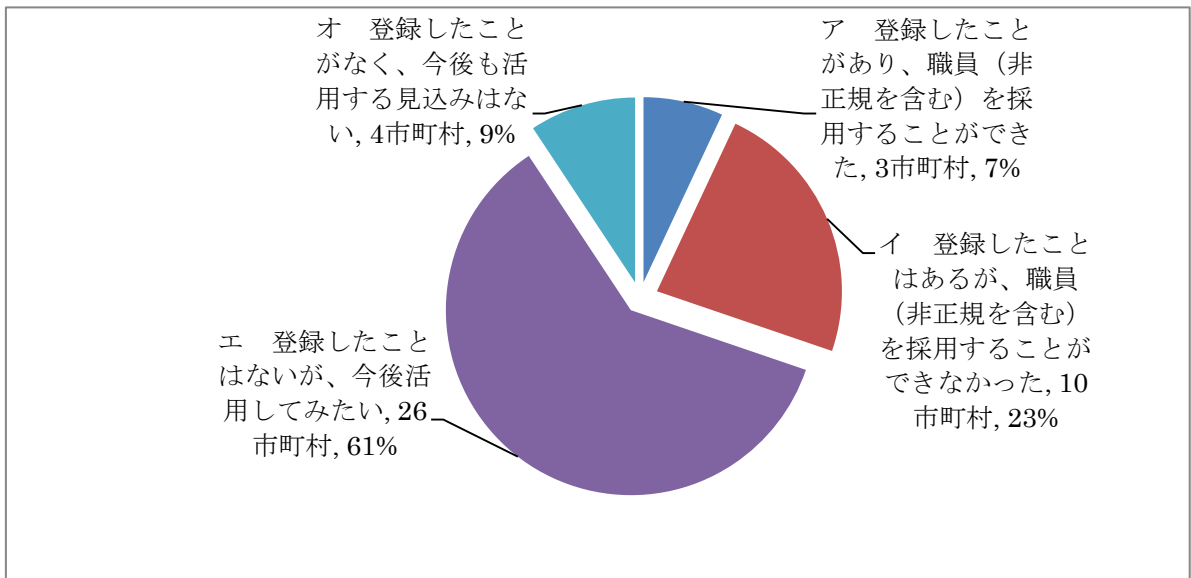
n=77 市町村



※①県看護協会が運営する人材バンクを「ア 知っている」と回答した市町村のみが回

「② 当該人材バンクに登録したことはあるか？」

n=43 市町村

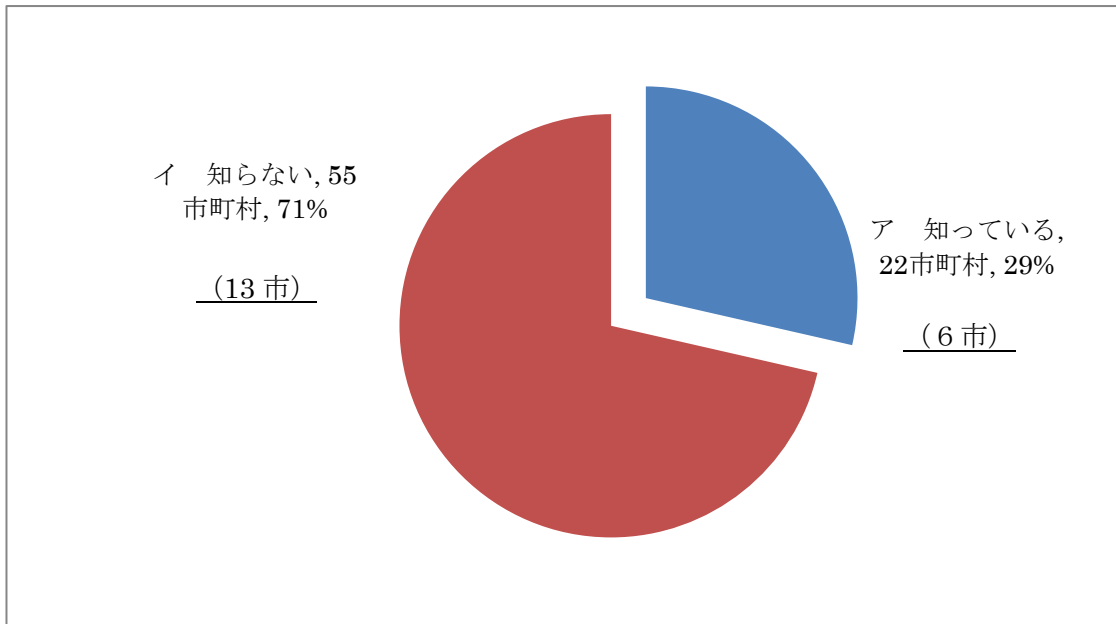


「①県看護協会の人材バンクに「イ 登録したことはあるが、職員（非正規を含む）を採用することができなかった」原因」

- ・登録したが、応募者がサイトについて知らず閲覧していなかった。
- ・当村が、市街地から遠方であるため、通勤に時間がかかるから。
- ・全体的な保健師の不足。
- ・勤務条件が合わなかった。
- ・人材がいなかった。
- ・応募がなかった。

「③ 『長野県社会福祉協議会』が運営する人材バンクを知っているか」

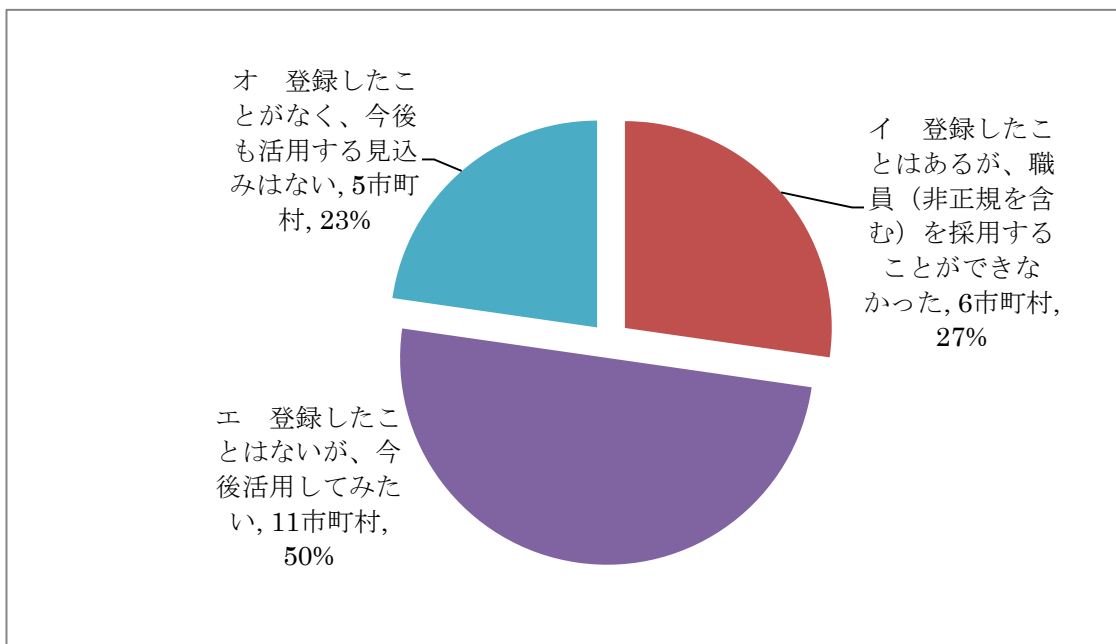
n=77 市町村



※③県社協が運営する人材バンクを「ア 知っている」と回答した市町村のみが回答

「④ 当該人材バンクに登録したことはあるか」

n=22 市町村



「③県社協が運営する人材バンクに「イ 登録したことはあるが、職員（非正規を含む）を採用することができなかった」原因」

- ・人材バンクとのやりとりができていない。
- ・地理的条件。
- ・時間的余裕がなかったと思われる。
- ・条件が折り合わなかった。
- ・マッチングされなかった。
- ・応募がなかった。
- ・依頼や問い合わせに対して、全く返答がなかった。
- ・保育士については現時点までは応募があるため。

「③県社協が運営する人材バンクに「オ 登録したことがなく、今後も活用する見込みはない」と回答した理由」

- ・マッチング機能がない。
- ・単独での人材確保が可能。

「⑤『長野県社会福祉協議会』が運営する人材バンクに対するご提案やご要望」

- ・今後ともマッチングについて取り組みをお願いいたします。
- ・マッチング機能を高めて欲しい。
- ・人材の活用につながるようなバンクであってほしい。
- ・全国的に保育士不足のため、拡充をお願いしたい。
- ・どのようなメリットがあるのか詳しく知りたい。
- ・急に代替を要する時などは、保育士も対応していれば参考としたい。
- ・マッチングまで手が回らないようであれば該当者（例えば勤務希望地が該当か）の情報をいただいて当方から個々に問い合わせを行いたい。
- ・正規職員は年1回の採用試験を経て採用となるため、非正規職員の採用については検討してみたい。

<問3 保健師等確保のために、自治体等が共同でできることについて>

<提案事項>

(1) 中学生、高校生に保健師等の業務・魅力・やりがいを説明し、進路選択の参考に  
してもらおう。

(提案理由：保健師等を志望する若者が少ないのではないか。)

(2) 以下の事項を提案したい。

①平成28年度に実施した合同就職説明会（銀座、名古屋、学校祭）

②複数の自治体を巡る2泊3日の現地説明ツアー

③県外の学生に市町村保健師就職に関する意向調査の実施。

提案理由：

① 受験自治体を選択する判断材料になる。

② 車の運転に不慣れな方等への配慮と現地で説明を受けることで仕事や生活が  
具体化する。

③ 県外の方の意向も参考になると考える。

(3) アンケートの項目自体から共同で検討し、これに自由記述欄を設け、アンケート  
を実施し詳細な分析をする。

提案理由：

個別自治体、規模別自治体、広域圏ごとの問題点・課題を鮮明にし、課題解決方法・  
選択の幅を広げることができる。各組織での議論を経る中で問題解決の具体的な  
糸口を見出すことができる。

<自由記載>

・当村では29年4月に保健師1名の採用を予定しております。

県のパンフレットに乗せる時期以降に採用することが決まり、乗り遅れた感があり近  
隣の学校に直接募集要綱を送るなどして、進路の先生方と直接お話しする機会があり  
ました。 その際、

「学生のほとんどが奨学金を病院から借りており病院への就職が決まっている」

「病院によっては土日（休日）にインターンシップを行い学校も把握できていない  
こともある」

「地域実習で保健師に魅力を感じられず、資格を取っても病院希望者が多い。」

といった厳しい現実を知らされました。

事実、当村も毎年保健師学生の実習を受け入れておりますが、奨学金で就職先が  
決まっている学生さんばかりです。

中には保健師志望の学生さんもありますが、本人の希望とは裏腹に5年間は病院勤務だ  
そうです。今回当村は（インターンシップ等努力もしましたが・・・）ありがたいこ  
とに5名の応募がありました。しかし、次回はどうなることか・・・

このような現実を踏まえ、今後とも効果的な専門職確保に取り組んで頂きますよう  
重ねてお願いいたします。